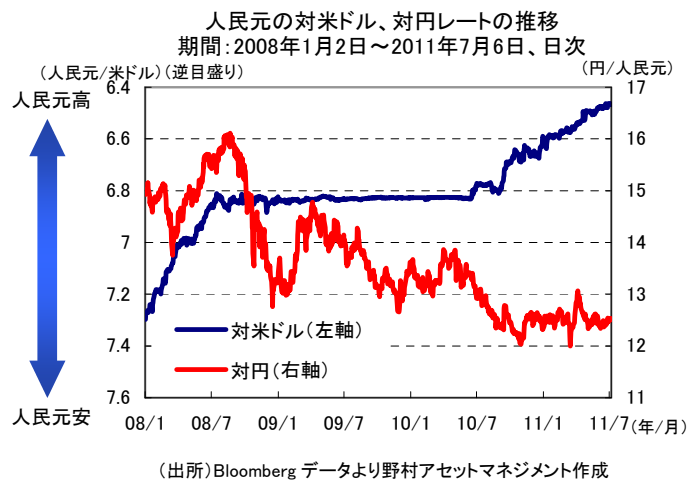
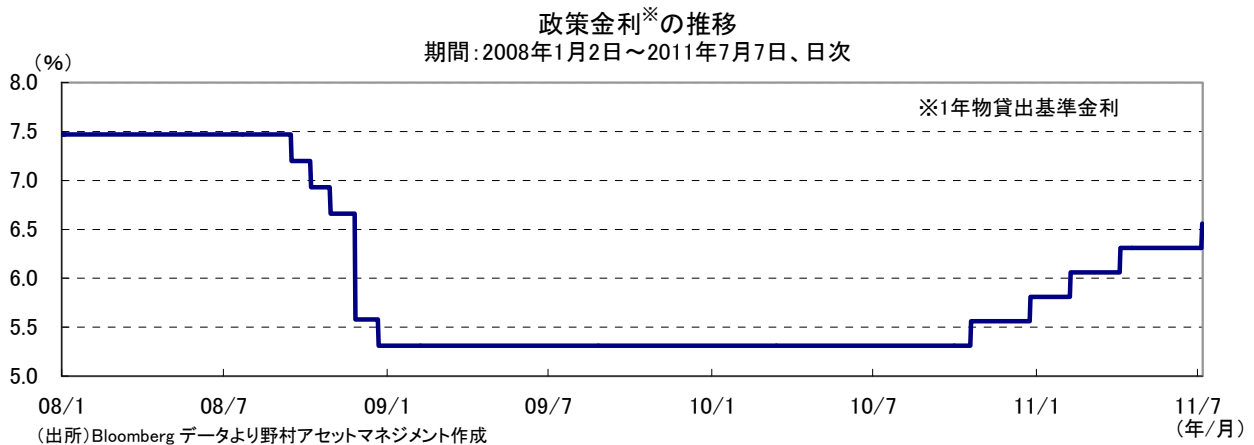


7月6日発表の中国の利上げについて

中国人民銀行(中央銀行)は7月6日に、金融機関の貸出と預金の基準金利(期間1年)を7月7日からそれぞれ0.25%引き上げると発表しました。これにより貸出金利は6.56%となり、預金金利は3.5%となります。金融引き締めに転じた昨年10月以降では、今回が5回目の利上げとなります。

利上げの背景には、同国の5月の消費者物価指数が、前年同月比+5.5%と約3年ぶりの高水準に達しており、政府目標の同+4.0%を上回って推移していることなどが挙げられます。金融市場では、7月15日に発表される6月の同指数も、前年同月比で+6.0%を上回ると予想されています。同国では、干ばつの影響による豚肉を始めとした食料品価格が上昇しており、市民の不満が高まっています。

中国の温家宝首相は7月5日、「国内の物価上昇圧力について、これまでのところ抑制されているものの、物価安定が引き続き中国政府の最優先課題である」と述べています。金融市場では、今後もインフレ抑制策が講じられると見る向きもあり、引き続き中国の金融政策動向に注視してまいります。



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。